令和６年９月号

あぶくま消防本部
警防課だより
【広報誌】

この号の内容

ページ１～２
宮城県防災航空隊との合同訓練
ページ３
大規模災害総合訓練
ページ４
荒浜海水浴場における水難救助訓練
ページ５
９月９日は救急の日

宮城県防災航空隊との合同訓練

令和６年５月２１日（火）、亘理町荒浜鳥の海において、荒浜防災公園及び荒浜漁港北導流堤を会場に、災害発生時における宮城県防災航空隊との連携強化及び円滑な協力体制の確認を目的とした合同訓練を実施しました。

「登山中に蜂に刺された」との出動要請、「海水浴中に溺れた人がいる」との出動要請という２つの事案を想定し、救助及び救急の引継ぎ訓練を実施しました。救助隊員及び救急救命士が実際に宮城県防災ヘリコプターに搭乗し、航空隊員と共に災害現場へ降下。傷病者の救助及び救急活動を実施しました。

夏の行楽シーズンへ向けて、実災害での万全な活動につなげるため、各隊員は連携や手順を綿密に再確認しました。

【訓練開始】

【ヘリコプターへの
傷病者収容手順の確認】

【ヘリコプターから航空隊員が降下】

【救急救命士及び航空隊員が降下】

【救助した傷病者をヘリコプターに収容】

【航空隊員による、傷病者の
ヘリコプターへの吊り上げ】

大規模災害総合訓練

令和６年７月５日（金）、あぶくま消防本部、岩沼消防署、亘理消防署、山元分署の全職員参加による大規模災害総合訓練を実施しました。

この訓練は、大規模災害発生時において迅速かつ的確な消防活動を実施できるよう、早期の体制確立と人命救助及び被害拡大防止を目的に、毎年訓練内容を変更しながら実施しています。

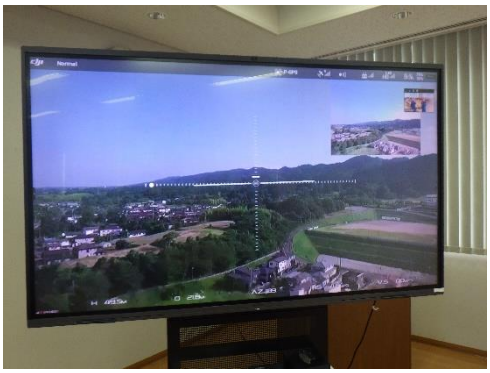
今回の訓練では、亘理町内における大規模な林野火災発生を想定し、非番職員の参集、警防本部の設置、各署隊の活動、㈱仙南測量設計と災害協定を結んでいるドローンを活用した偵察映像配信などを実施しました。ドローンによる映像配信訓練は今回初の試みでしたが、警防本部や各署隊への情報共有など非常に有効であることが確認でき、実災害に備えて大変意義のある訓練となりました。

【あぶくま消防本部での警防本部設置】

【亘理消防署指揮車出動】

【亘理消防署指揮隊による現場指揮活動】

【㈱仙南測量設計とのドローン飛行準備】



【ドローンによる映像配信】

【訓練終了】

荒浜海水浴場における水難救助訓練

令和６年７月９日（火）及び 10 日（水）、亘理町荒浜海水浴場においてライフセーバーと岩沼消防署、亘理消防署の救助隊参加による水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、７月 13 日（土）に海開きされた荒浜海水浴場において、事前にライフセーバーの方々と合同で訓練を実施することにより、水難救助技術の向上とともに実災害で安全かつ迅速に救助活動ができる体制を確立することを目的としたものです。

今回の訓練では、ライフセーバーと救助隊の互いの資器材や活動の情報共有を行った後、「遊泳者がテトラポット付近で溺れている」想定で訓練を行い、ライフセーバーが溺者を発見、確保し搬送、後着した救助隊が協力して地上まで引き揚げる訓練を実施しました。

海開き前にライフセーバーと救助隊の綿密な連携訓練を行い、実災害時にも安全かつ迅速な救助活動ができるような実りある訓練となりました。

【ライフセーバーの資器材説明】

【救助隊の資器材搬送】

【ライフセーバーによる溺者確保】

【救助隊による溺者救出】

９月９日は救急の日

救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と知識を深めるとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、国では９月９日（月）を「救急の日」とし、また、令和６年度は救急の日を含む９月８日（日）から９月 14 日（土）までの１週間を「救急医療週間」と定めています。

救急医療・救急車の適正な利用をお願いします。